# MA AINICHI UCTION Report

# 取り扱い高70億円を突破

2014年、毎日オークションは、33回のセールを開催、32,000点近くのロットを出品し、落札総額は70億円（アフターセールを含まず）を超え、過去最大の取扱高を更新いたしました。

第1回毎日オークションから順調に取り扱い高を伸ばし、来春には節目となる500回目のセールを開催予定です。今後もご参加いただくお客様が興味・関心をもつ話題性のある出品作品を取り揃え、オークションの開催を続けてまいります。

毎日オークションでは、新たな試みとしてジュエリー&ウォッチの入札会を開催いたします（裏表紙に開催概要記載）。

これを機に他のジャンルでも新たな試みを企画・実施し、より身近な毎日オークションを目指してまいります。今まで取り扱いのないアイテムで、出品を迷っていらっしゃる方もお気軽にお問い合わせいただき、ご出品作品の情報を弊社までお寄せください。お問い合わせお待ち申し上げております。

## 2015年 3、4月 開催オークション

**絵画・版画・彫刻**

オークション開催予定：
3月 7日（土）
3月14日（土）
4月11日（土）

**日本陶芸・茶道具・古美術**

オークション開催予定：
4月17日（金）
4月18日（土）

**西洋装飾美術**

オークション開催予定：
3月28日（土）

**ジュエリー & ウォッチ**

オークション開催予定：
4月25日（土）

# 2015年春のメインセール開催

## 新たな市場の動き活発に

優品に注目が集まる中、昨年11月には有明会場と、恒例になった銀座洋協ホールでの2回のメインセールを開催。求められる作品が代わっていく美術市場にあって、2開催の落札額合計は7億円に迫る好結果となった。

11月初旬に有明で行われた第453回セールでは、浜口陽三の代表作「パリの屋根」440万円での決着を皮切りに、棟方志功の色艶やかな「人すべての柵」370万円が続き、版画作家も人気を集めた。古書画では、信長・秀吉・家康の手札が1,150万円と、お互い譲らない応札に会場を沸かせた。近代日本画では、事前の問い合わせも多かった村上華岳1934年作の優品「春山濃靄」が予想を大きく超える800万円での決着。加山又造「鯉」20号の作品も1,200万円と、日本画壇を代表する作家の強さを見せつけた。九州を代表する洋画家の一人、坂本繁二郎の柔らかい色調を湛えた「烏瓜」はコレクターを惹きつけ1,100万円での落札。海外作品では、リー・ウーハン、アンディー・ウォーホル、ビュッフェ、カシニョールと、日本にも馴染み深い作品が再び注目を集める中、予想を超える好結果となった。

銀座洋協ホールで開催された第455回メインセールでは、近年国内外からも注目を集める「具体」作品が数多く出品。白髪一雄1974年作の紙に描かれた20号の作品は、予想落札価格を大幅に超える1,500万円での落札。希少な村上三郎のキャンバス作品も、海外との競り合いの末、800万円で落札。田中敦子や、嶋本昭三の作品も人気を集め、新たな市場の動きを着実に感じる結果となった。落札価格の上昇が顕著な草間彌生も、サムホール作品で840万円と好調を続け、ホックニーの「水のリトグラフ」も320万円で落札され、コンテンポラリーというジャンルが、狭く瞬間的な人気だけでないことを強く印象づけたセールとなった。

現代美術に注目が集まる一方、日本の近代作家も負けてはいない。幅広い世代にファンをもつ、片岡球子の赤富士は830万円。高島野十郎と小出楢重の静物は、共に600万円を超える結果。独自の世界観を見るものに与える牧野邦夫は、300万円で新たなコレクターのもとへ渡った。

## 2015年春メインセール開催決定

**オークション開催日：3月14日（土）**

注目は長谷川潔コレクション。初期の貴重なデッサンから、マニエル・ノワールの代表作まで作家の足跡を辿るような秀逸なコレクションが出品。シャガール、ユトリロ、ローランサン、キスリング、ヴラマンクといったエコール・ド・パリの作家達から、ウォーホル、ウェッセルマン、ウーハン、草間のコンテンポラリー作家。そして、荻須、小磯、一政の近代洋画まで幅広い名作の数々が出品決定。

## 2015年も年6回の開催予定
# 常時1,000ロットを超える大規模セールは健在

### 明治七宝の優品が高額落札！

昨年10月に開催された、第451回オークションの最高値を記録したのは、明治七宝を代表する並河靖之の作「七宝瀧図花生」。本作品は、当初のエスティメートを大きく上回り、680万円の落札を記録。明治時代の職人・作家たちが作り上げた、現代の技術では真似の出来ない、“超絶技巧”と言うべき技術の粋を結集した作品への人気は根強く、当回でも活況な競りを展開した。

その他高額落札は、楠部彌弌の「彩埏」の技法を用いた香炉、加守田章二の1979年作の壷、川喜田半泥子の遊び心溢れる茶碗等、バライティに富んだ人気の近代作家の作品が並んだ。

また、当回の落札額2位は、李氏朝鮮の画家・鄭敾（チョンソン）のものと伝えられる墨絵。こちらも予想された評価額を大きく超えての落札となった。毎日オークションの取り扱いの幅の広さを象徴する結果と言っていいだろう。

### 中国の方の参加で高額落札続出！

昨年末に開催された、第458回のオークションには国内外の多くの中国人顧客がご来場になり、中国人作家の掛け軸や、細工のある鉄瓶、金・銀製品、珊瑚、象牙製品などの高額落札が続いた。まだまだ中国の方々の競りへの意欲は健在であると言えるだろう。

また、新作工芸のジャンルにおいても、板谷波山、加藤唐九郎といった巨匠の作品の高額落札、茶道具にも100万円を超える落札の作品が複数生まれた。中には、江里佐代子・康慧夫妻の合作「阿弥陀如来」といった珍しい作品も出品され、活況な競りが行われた。

### 皆様のご参加お待ちしております

2015年も、日本陶芸・古美術・茶道具のオークションは年6回の開催を予定しています。1,300ロットほどが集まった2月開催の第462回を皮切りに、1,000ロットを優に超える大規模なセールが展開されます。今年もバラエティに富んだ作品群、名品・逸品・珍品の数々が、東京有明に集結することになるかと思います。初めての方も、しばらく足が遠退いてしまった方も、是非ご参加いただければと思います。

出品も随時募集中です。毎日オークションはどこよりも高く売れる競り場を目指し、日夜努力を惜しまず精力的に活動しておりますので、コレクションの入れ替え、使わなくなった茶道具の整理等あれば、是非当社までお気軽にお声掛け下さい。

# 3月はラリックの出品に注目

## 冬季開催オークション結果報告

昨年11月開催の第454回オークションでは、会場の熱い競りや多数の電話入札もあり、落札総額2億円を超える好調な結果となった。海外からの問い合わせが多かったフランソワ・ポンポンのペリカンやマイセンの四大元素は予想落札価格からかなりの伸びをみせた。銀器の落札価格は大幅に上がり、エスティメートの10倍以上に。ガラス作品は9点が100万円超え、200万円以上が5点、ガレのシャクナゲ文ランプは1,000万円を超える結果となった。バラエティーに富んだ作品群が活発な競りを見せた。

1月開催の第460回オークションでは、ガラス作品が大きく盛り上がった。ガレの蝶と菊文天吊灯は1,100万円にまで跳ね上がり、会場で拍手が巻き起こった。ガレのプリムラ文花瓶520万円やドームのバラ文花瓶440万円に続き、100万円を超える作品が20点にのぼる結果となり、高額作品復調の兆しが見える。

## 次回オークション3月28日(土)開催

次回開催される第466回オークションでは、ラリックの天吊灯「PAPILLONS」(落札予想価格:100～150万円)が出品予定。さらに「Tourbillon」他、有名作品が多数出品される。

ラリック:PAPILLONS
予想落札価格
1,000,000～1,500,000円

ガラス作品では、金彩とエナメル彩が施されたドームの「大鷲文花瓶」(同:300～400万円)が出品。

ドーム:大鷲文花瓶
予想落札価格
3,000,000～4,000,000円

ガレのベコニア文花瓶も見物である。一見オリーブ色に見えるが、光に反射させるとクリムゾンレッドに輝き、見る人を驚嘆させる優品である。ぜひ会場でご覧頂きたい。

ガレ:ベコニア文花瓶
予想落札価格
3,000,000～4,000,000円

ラリック:Tourbillon エナメル彩
予想落札価格
800,000～1,200,000円

ラリック:Tourbillon アンバー
予想落札価格
1,300,000～1,800,000円

# 新たなアイテムにより新規参加者が増加

## 新たな試みに挑戦

初めての試みとして行った陶芸ジャンルとの同時開催により、新規顧客の参加や今までジュエリーオークションへの参加のなかったお客様が会場に足を運ばれたりと、11月開催の第452回オークションは好調に競りが行われた。また12月開催の第457回オークションもクリスマスシーズンに毎回開催されるため、プレゼント需要の高まりもあり多くの来場客で会場が賑わった。

ここ最近好調な色石の中でも、ルビーやサファイアなどの産地が特定されていて色目のきれいな透明感のある作品や、希少性の高いブルーダイアリングなどにおいては、特に高額にて落札された。また最近話題となっている珊瑚や70ct以上の大粒のタンザナイトにも人気が集中し、競りが活況に行われた。

今回まとまってご出品いただけたアンティークジュエリーも海外からの問い合わせや、遠方からもご来場いただき下見をされ、歴史的価値のある作品においては特に出品の珍しさもあり人気を博した。

## 複雑時計に人気が集まる

久々の出品となったトゥールビヨンに事前の問い合わせが集中し、会場での下見も多くの方にご来場いただいた。

12月開催のセールに出品された、CARTIER TORTUE XL TOURBILLONやROLEX DAYTONA REF.6265などの希少性の高い作品やCARTIERのダイア時計などが集中して出品されたことで、多数の新規のお客様の参加もあり、活況の競りとなった。

時計の人気はしばらく続いており、海外のお客様の参加も非常に増えていることから、今後もさらに高額での落札が期待できるジャンルとなっている。

ブルーダイア
ダイア リング
14,500,000円

タンザナイト
ダイア リング
3,600,000円

タンザナイト
ダイア ペンダント
4,700,000円

PATEK PHILIPPE　腕時計：
PERPETUAL CALENDAR
3,900,000円

CARTIER
腕時計：
TORTUE XL TOURBILLON
6,100,000円

ROLEX
腕時計：
DAYTONA
6,500,000円

CARTIER　ダイア 腕時計：
IMARIA
1,450,000円

※金額は全て落札価格